

3月は鳥の話

自分が酉年(S32,1957年)であることもあり、子供のときから、年賀状にはニワトリの絵でした。鳥は大空をスイスイと飛べて、憧れます。今まで、屋外活動と言えばジョギング、ハイキングと体作りがメインでしたが、それも加齢とともにしんどいので、別の趣味として、野鳥撮影、野草摘みも入れる事にしました。今日は、ここ湘南や郷里の静岡市で観察した鳥72種類から、特に好きな鳥を6種類選んでお送りします。海が無い内陸の群馬では、あまり見かけない鳥と思います。群馬の冬はどんな鳥がいるのか？猛禽類のノスリをみてみたいです。

●湘南の地形

上図はここ、鎌倉から大磯までの相模湾の海岸風景です。何本か川が流れております。藤沢は境川、引地川が有名です。平塚に行くと、大きな1級河川の相模川と花水川が流れています。この川岸に多くの野鳥が暮らしております。特に12月から5月ぐらいが冬の渡り鳥と、春の小鳥達の楽園です。



大磯～平塚（湘南平、金目川）～茅ヶ崎（相模川）～藤沢（引地川、境川、江ノ島）～逗子（森戸溪谷）

●オオタカ

いつも冬になると相模川の河口にかかる相模大橋の下にヒドリガモの集団が飛来して青草を食べています。それを撮影に行ったら、奴がいました。初めてみました。猛禽類のオオタカです。ヒドリガモのお食事中でした。周りにカラスがかーかーとおこぼれを待っていましたが、さすがに鳥の頂点は貫禄が違います。カラスも近づけません。

オオタカ 大鷹 Otaka

タカ目タカ科(英)hawk

生まれた初めて、オオタカを相模川でみました。丁度、ヒドリガモの食事中でした。周りにカラスが3羽いましたが、手出しできません。ハヤブサと似ていますが、目が黄色なのでオオタカです。



2013.2.23
相模川橋下
ヒドリガモのオスを喰らうオオタカ

●磯ヒヨドリ

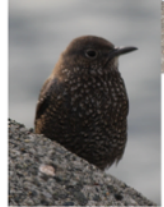
江ノ島の岸壁にいます。海の鳥と思っていましたが、内陸の川の側にもおります。雄はコバルトブルーの背中とオレンジ色の腹色のコントラストがきれいです。メスの大きさはやや小振りの茶褐色に白の斑点がある地味な洋服です。よく、対で雄雌がおります。

イソヒヨドリ 磯鶴 Isohiyodori

スズメ目 ツグミ科 (英)Blue Rock Thrush=ツグミ。
江ノ島の海岸の崖の上に巣があり、毎回復られる。青い羽とオレンジの脚が特徴。一方、メスは灰色で地味です。徳川の幕府市民病院のそばの川にもいました。この鳥は神奈川では良く見かける鳥です。



100505江ノ島 オス



110123江ノ島メスは可愛いです

110208徳川幕府市民病院の前で

●黒サギ

最初見た時はビックリしました。サギの形ですが、黒です。江ノ島の海岸の浅瀬で小魚を追い回しておりました。本当にある時期だけおりました。普段は遭いません。珍しいです。

●ミヤコドリ

渡り鳥です。江ノ島が海岸線を渡る鳥の休憩所になっているのでこの海岸に思いがけない鳥が出現します。くちばしが平たくなっていて、別

名オイスターキャッチャーとか。盛んに磯に生えた海藻や虫を食べておりました。

サギ-クロサギ 黒鷺 Kuro Sagi

コウノトリ目サギ科 (英)Eastern Reef Heron

ほぼサギと同じ大きさです。江ノ島の海岸にいます。この写真は岩瀬観察の前の岩場にいた風景です。滅多に見かけません。いつもどこにいますでしょうか？



110123江ノ島



110218江ノ島

ミヤコドリ-都鳥 Miyakodori

チドリ目 ミヤコドリ科 (英)Oystercatcher

初めて、江ノ島の沖合の磯でみた。流かったので距離一杯で撮影した。さかんに何かを啄んでいました。とても貴重な1枚です。



110123江ノ島



110123江ノ島
これが最後でした。2014.5月撮影2011.1月から見ていません

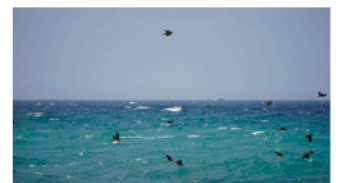
●アオバト

珍しい習性です。夏の朝になると丹沢の麓から集団で飛来して海の上をグルグル回って、大磯の港の岩場の窪地に貯まった海水を飲みにきます。それを待ち構える大勢のカメラマン達。体の色はオリーブ色で羽の一部が赤い。これがアオバトか！、やっぱりドバトとは違います。鳴声は聴いた事がありません。大磯の夏の風物詩。7月から11月。

アオバト 青鳩 Aobato

ハト目 ハト科 (英)Japanese Green Pigeon

大磯のアオバトは岩場の凹みにたまった海水を飲みに行く。10-20羽のグループが3グループほど巡回しながら、3分くらい岩場と、大磯の湘南平あたりを往復しているようでした。大磯のカメラマンがいっぱい。私ははじめてここでアオバトを撮影した。青と言うよりはオリーブ色です。明らかに町中のハトとは違う生態でした。夏がシーズンみたいですね。



110724大磯湘平 (JR大磯駅から徒歩15分くらい)



オリーブ色、羽が赤いのが

●オナガ

ギャーギャー騒がしい奴です。羽の色が水色でとてもきれいです。水色の長い尾と羽を広げた形がいいです。5羽ぐらいの小グループで行動しております。好きな鳥です。でも、カラス科なのが、残念です。

●自然保護活動



自然保護団体WWFの会員です。毎月1000円の寄付をしております。増え続ける人間と都市の発展はそれと引き換えに野生動物の住処を奪っています。化学会社に勤務する者は加害者であります。その罪滅ぼしに自然保護活動に参加しております。

●参考

2009-2014年までに観察した野鳥

アオジ,アカハラ,イカル,イソヒヨドリ,イソシギ,ウグイス,ウソ,エナガ,オオタカ,オオバン,オオヨシキリ,オオルリ,オナガ,ガビチョウ(外来種),アカハジロ,オナガカモ,カルガモ,カイツブリ,キンクロハジロ,コガモ,ヒドリガモ,マガモ,ウミネコ,セグロカモメ,ユリカモメ,カワウ,カワセミ,カワラヒワ,カラス,キジ,コアジサシ(静岡県安倍川),コウモリ,コゲラ,コチドリ,コジュケイ(外来種),コブハクチョウ,アオサギ,ダイサギ,クロサギ,ゴイサギ,コサギ,ササゴイ,シジュウカラ,シメ,ジョウビタキ,シロハラ,スズメ,キセキレイ,セグロセキレイ,ハクセキレイ,センダイムシクイ,ソウシチョウ(外来種),タシギ,チョウゲンボウ,ツグミ,ツバメ,イワツバメ,トンビ,ハト,アオバト,キジバト,バン,ヒバリ,ヒヨドリ,ホオジロ,ミコアイサ,ミサゴ,ミヤコドリ,ムクドリ,メジロ,モズ,ヤマガラ.....合計,72種類

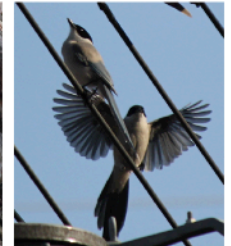
オナガ 尾長 Onaga

スズメ目 カラス科,(英)Azure-winged Magpie

5-7羽ぐらゐが群れて移動している。どこにでもいる鳥です。引地川周辺で見ます。ギヤー、ギヤー騒がしい鳥です。色は水色でとっても奇麗です。



大庭城公園



1103引地川のそばの農家の稲圃にて

<今月の鳥絵>

3月なので春を題材にした作品です。コゲラのバックの木漏れ日は苦勞しました。コゲラ(小啄木)は小さいキツツキです。ギー、ギーと鳴いています。喉が赤いのが家ツバメ、スイスイと空を駆ける。6月になると田の泥で家作り。



<番外>こんな外来種はいらない

籠抜けし（または人間が放し）日本に定着してしまった種があります。ソウシチョウはベトナム原産ですが、インコのように籠抜けして各地で繁殖しています。暖かいところが好みようです。暖冬の日本でも十分に越冬してしまいます。写真は湘南、二宮の吾妻山（菜の花と富士山の見所）で1月にみかけた家族です。野鳥の会に報告です。



●五感を鍛える講座を開設

もう今年度も終わり、さて、4月からの新年度、新しい事をしよう！。4月から「五感を鍛える～ライザップ的訓練所」を開設します。例えば、左手で歯を磨く、目を閉じてお金を数える、色を記憶する、etc」、原始の本能を呼び覚ます。頭が混乱すると、修復するために新しい神経ネットワークのシナプスができる。右脳と左脳のコラボレーション。全く違う自分に出会えるかも？こんな企画を主催します。私の「森の仲間達」で実験する訓練所です。

五感と直感で学ぶ 色彩科学アレコレ

2012.11 関西ペイント(株)CD研究所 特級研究員 増田
2012.11.29 KP商事 色彩科学の勉強会資料として作成

～ 6 sense ～

見て → 視覚意匠

触って → 手触り意匠

舐めて → 安全性

嗅いで → 臭気

聴いて → 評判を

考える → 色々な事



(農林水産省食事のバランスガイドから)塗料も「こうなりたい」と思いを込めて